

1年生 いのちの大切さ、こころとからだの話 についての講演



○日時：1月12日（金）6時間目

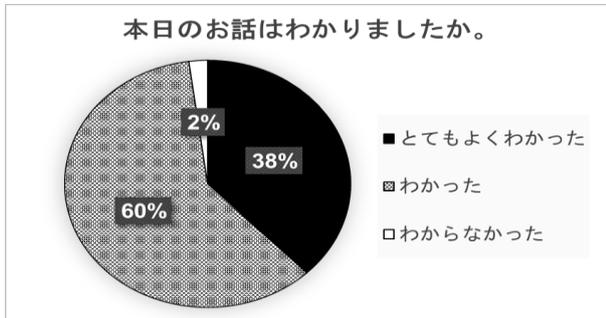
○講師：社会医療法人社団蛭水会名戸ヶ谷病院

看護部長 渡邊 由実 様

○内容：・「命」とはなんだろう

- ・思春期のこころとからだの変化
- ・思春期に起こりやすい疾患
- ・いのちの体験談
- ・看護の話

○事後アンケートより



実例があって面白く、
わかりやすかった！

知らない単語がいっ
ぱいできてわから
なかった…

～生徒たちからの感想（一部抜粋）～

- * 「命＝時間」の話がすごく心に残った。まず、それを言った人が105歳まで生きていたということにまず関心を持って、その後の話もすごく納得できて、実際の中学生の話などもあって面白かった。
- * 思春期の訪れや病気などは人それぞれということがわかり、それを馬鹿にせずお互いに尊重することが大切だと思いました。
- * いのちがどれだけ大切なものが再確認できた。私も最近メンタルが不安定になったりしていたが、それは心が成長しているってことなのだと思う。
- * 命とは時間というお話がとても印象に残りました。時間を無駄にしているということは命を無駄にしているということと聞いて、時間を無駄にしないようにしようと思いました。
- * 毎日お世話をしてくれる親には感謝の気持ちを伝えることも大切だと思いました。
- * 思春期だから色々なことが気になってしまうことも色々あるけど、それは自分だけではなく周りもそうなのだと再認識できた。また反抗をよくしてしまうが親も傷ついていることがわかった。
- * 脳腫瘍になってしまった中学生のお話がとても印象に残った。自分とほとんど変わらない年齢の人が、あきらめずに病気と戦ったところに感動した。



看護師さんの視点から「いのち」について、そして思春期のこころとからだについてご講演いただきました。学校でも相手を思いやる気持ちを忘れずに過ごして行ってほしいと願っています。この機会にぜひおうちでも「いのち」についてお話をしていたければ幸いです。

